

学生担当者報 5

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉
 Vol. 447 立教 187 年 2024 年 4 月 25 日発行
 TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp
 TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net



立教百八十七年 春の学生おぢばがえり
 harugaku 187. 3. 28

去る 3 月 28 日、暖かな日差しが降り注ぐ中、本部中庭にて「立教百八十七年 春の学生おぢばがえり」式典を開催し、道の学生 2923 名が参加しました。(3 月 29 日時点)

当日は、真柱様より学生に向けた親心あふれるメッセージ(代読)を頂戴し、今後の道の学生の歩み方をお示しいただきました。また、奥様、大亮様、布恵様をはじめ来賓の先生方のご臨席を賜り、次代を担うようべくへと成人することを誓い申し上げます。なお、前日の 27 日には前日行事「春 F e s」を行い、全国各地からおぢばに帰り集った学生の笑顔あふれる時間となりました。

教区、直属担当者の先生方にはそれぞれのお立場の中、学生のお世話取りに真実をお尽くしいただき誠にありがとうございました。

令和 6 年 学生担当委員会 活動方針
 「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

お知らせ

五月例会
 期日: 立教 187 年 5 月 25 日
 時間: 15 時 30 分受付 16 時開始
 会場: 38 母屋 9 階大広間
学生層育成者講習会
日程・会場案内

所属	期日	時間	会場
東本	5月16日	9時30分	大教会
玉島	5月20日	12時	大教会
浅草	5月21日	12時	大教会
周東	5月21日	12時	大教会
名東	5月22日	11時30分	大教会
中紀	5月22日	12時	大教会
御津	5月22日	12時	大教会
南	5月22日	14時30分	大教会
防府	5月22日	18時	大教会
佐野原	5月23日	10時	大教会
豊岡	5月23日	10時	大教会
西宮	5月23日	11時50分	大教会

報告

三月例会

去る 3 月 25 日、教庁 4 階講堂において「3 月例会」を開催。出席は 20 教区、88 直属。

各地の動き

- 直属学生層育成者講習会
- 越乃國 3月23日 大教会
- 宗岡真雄委員長出向 70名
- 中背 3月24日 大教会
- 中山祥吉副委員長出向 150名

人事

《立教 187 年 4 月 1 日付》

【学生担当委員会事務局新局員】

・番場真結(日本橋・澁川町)

業務記録

- 《立教 187 年 3 月 16 日～4 月 15 日》
- 3 月 18 日 まなびばチーム会議
- 19 日 事務局連絡会
- 24 日 担当者活動部部会
- 25 日 委員会 例会
- 27 日 春の学生おぢばがえり
前日行事「春 F e s」
- 28 日 春の学生おぢばがえり 式典
- 4 月 4 日 学修部部会
- 8 日 事務局連絡会
- 11 日 まなびばチーム会議
- 12 日 大学の部研究室
高校卒業生コース研究室
担当者活動部部会
人材育成部部会
春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
- 13 日 委員会
高校の部研究室
学生連絡会

次代を担うようぼくへ

立教百八十七年 春の学生おぢばがえり 実行委員長挨拶 中臺 理生之助



本日は、奥様、大亮様、布恵様のご臨席を賜り、来賓の先生方をお招きして、ここに「立教百八十七年 春の学生おぢばがえり」式典を開催できたこと、心より感謝申し上げます。皆さん、ようこそおぢばにお帰りくださいました。

私たちが道の学生は、「次代を担うようぼくへ」をスローガンに掲げ、道の学生成人目標を胸に、仲間と助け合いながら一日一日、成人への道を歩んできました。

私はこの一年、楽しいと感じるときもあれば、信仰のありがたさも学生会の楽しさも分からなくなって、つらいと感じるときもありました。しかし、そんなときに助けられたのが、共に歩む仲間とお道の教えでした。

つらい時、教祖の教えを心に治めて過ごすことで、普段当たり前に過ごしていたことが実はありがたい親神様の守護だと気付くことができ、どんな中も前向きに通ること

ができました。

また、論達第四号の中に、「人救けたら我が身救かる」とお示しくだされています。私はこの一年、一人で悩みを抱えこむこともありましたが、そんなときに共に通る仲間は心をかけ続け、たすけてくれました。そして、今度はずけてくれた仲間のためにと、誰かのためを思う心遣いで通ることだんだんと心が明るくなり、自然と笑顔が増えていきました。

道につながる学生同士、楽しいことは分かち合い、もしつらいことがあったときは互いにたすけ合って、教祖百四十年祭に向けて共に心明るく成人への道を歩んでいきますよう。

ただ今から、真柱様より私たちが道の学生に向けて、お言葉を頂戴いたします。私たちがこれから歩む中で大切な指針となります。真柱様から頂戴するお言葉を通して、をやる思いを心に治め、共に次代を担うようぼくへと成人していくことを誓いましょう。

決意表明

立教百八十七年 春の学生おぢばがえり 廣岡 颯



本日は、「立教百八十七年 春の学生おぢばがえり」式典を無事に開催することができたことを心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。私たちが道につながる学生は、先ほど頂戴した真柱様のお言葉を心に治め、一手一つに成人の道を歩ませていただきます。

人と直接会うことができるようになり、たくさんの方が集まりつながれる機会が多くなりました。そのおかげで改めて仲間の存在をより強く感じ、人と関われることがありがたいと思えるようになりました。しかし、私たちはまだまだ未熟な学生です。一人で抱え込んでしまい、思い悩む時があります。そのような時こそ、道につながる多くの仲間たちと助け合うことで、ありがたいと思えることが増えていき、たす

け合いの大切さを感じることができました。こうしたたすけ合いの大切さを感じられる環境を当たり前と思わず、仲間とお引き合わせや日々生かされていることに感謝し、喜びを探しながら通らせていただきます。

教祖百四十年祭の年祭活動の中で、困っている人に声を掛けたり、人に喜んでもらう行動を心掛けたりと、身近なたすけに取り組んでいきます。もしも一人では難しいと感じる時は、仲間と一緒にたすけをさせていただけます。また、おつとめやひのきしんを実践して、日々勇んで通る姿を周りに映していき、何事も楽しんで通らせていただきます。

今日おぢばに帰り集った仲間、道につながるすべての仲間と共に、教祖のひながたをたどり、日々頂戴しているご恩への感謝を忘れず、次代を担うようぼくへと成人していくことをここに決意します。

青空

学生時代、直属の学生会で副委員長をさせていたでいた。春学に向け皆で一生懸命準備する中、いくら頼んでも協力してくれない子がいた。連絡をしても返信がなく、来るはずだった例会は無断欠席、ようやく来てとてもスタッフとして何かを任せられる状態ではなかった。私はだんだんと不足し、ある日耐えかねて母に相談した。母は私にこう言った。「あんたはその子に対して、してもらうことだけを考えているやろ。それは子供の心やで。その子は来るだけで精一杯やと思う。それならあんたがその子にできること頼んで、心をかけて足してあげるんやで。『してもらいたい』は子供の心、『してあげたい』が親心やで」

この出来事以来、私は常々「してもらいたい」の心になっていないか、「してあげたい」という気持ちを持っているかと考えるようになった。とても難しいが、「してあげたい」の親心を持てるよう一歩でも成人していきたい。

人材育成部部員 高橋 真理栄